

# 楽しく美しい まちづくり通信…⑤6

## 命名「谷地大滝」

「めどつ」に逢えるといいね

降り始めた雪が木々を包み、一面銀世界となった十二月二日の早朝、ふと海上上の谷地地区にある滝を思い出し、足を運んでみました。

晩秋の頃よりも、水量も増え、ひととき大きく力強く見え

ました。滝は、集落から三〇〇メートルほど手前の、金田一川本流にありま

す。川全体が滝となり、大きく二段に流れ落ちていきます。その

大きさは、幅約十六メートル、高さ六

メートル、市内では稀に見る滝です。水の少ない時期は、十数段にも

映ることがあります。この滝のことを、古老の佐藤

幸司さん、佐藤平八さんに聞くと、名もなく、訪れる人も少ない

といっています。付近を地元では「滝の田」と呼んでいるそう

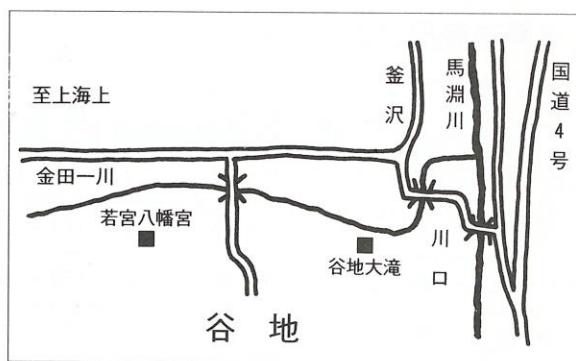
です。お二人にお願いし、四日の夜谷地の今昔について話を聞くこ

とにしました。その夜、地区の集会所「青空子ども館」に全世帯（九戸）か

ら十一人の地区民が集まりました。この建物の中には、鎮守さま

若宮八幡宮が祀られています。このお宮の、由来は定かでは

ありませんが、「天保十年（一八三九）若宮八幡、巻尺四方」と九ヶ村神社取調村目録に記さ



乗り、この地にたどり着き、亡くなった。青毛馬には、神がやどると聞いていた民は、この者を丁重に葬り祀ったという。これが若宮八幡宮の始まりとい

伝えられています。ストロブを囲んで話が弾む、

「むかし、年寄りが、滝の下の淵に「めどつ」（カッパ）がでると言っていた。でも、あそこで

川遊びもした」。若い人たちは「うーん、わ」ども遊んだし、

その頃はサケやマスが上っていたよなあ」と確認するように話

す…。夜が更けるとともに、誰が決めるともなく「谷地大滝」と命

名されました。若宮八幡 祭日 八月十七日

- 31日(土)
- 30日(金)
- 29日(木)
- 28日(水)
- 27日(火) 1歳6カ月児健康診査(市保健センター)
- 26日(月) 文化財防火デー
- 25日(日)
- 24日(土)
- 23日(金)
- 22日(木) 法律相談(市役所市民相談室)、税務巡回相談(市保健センター)
- 21日(水) 四節気
- 20日(火) 4カ月児健康診査(市保健センター)、大寒(二長室)
- 19日(月) 市長と語るう日(市長室)
- 18日(日)
- 17日(土) 防災とボランティアの日
- 16日(金)
- 15日(木) 二戸市成人式(市民文化会館、小正月)
- 14日(水)
- 13日(火) 3歳児健康診査(市保健センター)、市民生活相談(市役所市民相談室)
- 12日(月)
- 11日(日) 鏡開き



1月11日～2月10日